

葛飾区ユニバーサルデザイン推進指針（概要）

1 ユニバーサルデザインとは

『ユニバーサルデザイン』ってなあに？

みなさん、「ユニバーサルデザイン」という言葉を聞いたことがありますか？
今、「ユニバーサルデザイン」という言葉はさまざまところで使われているので、聞いたことがあるという方は多いかもしれません。

ユニバーサルデザインとは、ある特定の人のためではなく、年齢・国籍・性別・身体的能力等の違いをこえ、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり・ものづくり・環境づくりを行っていこうとする考え方です。

ユニバーサルデザイン7原則

- 原則1 だれにでも公平に利用できること（公平性）
- 原則2 使う上で自由度が高いこと（自由性・柔軟性）
- 原則3 使い方が簡単ですぐわかること（単純性）
- 原則4 必要な情報がすぐに理解できること（分かりやすさ）
- 原則5 うっかりミスや危険につながらないデザインであること（安全性）
- 原則6 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること（省体力）
- 原則7 アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること（快適性）

どうして今、『ユニバーサルデザイン』なの？

さて、なぜ「ユニバーサルデザイン」の考え方が必要とされているのでしょうか。

これまでは、「ミスター・アベレージ」とよばれる、健康で体力のある若い成人男性を対象として、まちづくりやものづくりなどが進められてきたのじゃ。しかし、最近では、急激な高齢化により高齢者が増え、国際化によりさまざまな国の人々の行き来が増える・・・などなど、社会環境の変化に対応し、すべての人が心地良く暮らせる社会づくりが求められるようになった。

この、“すべての人が心地良く暮らせる”ようになるために、「ユニバーサルデザイン」の考え方は重要なのじゃ。



2 基本的な考え方

『心ふれあう住みよいまち かつしか』を目指して…

ユニバーサルデザインを進めて行くうえで最も大切なのは、「心のバリアフリー」を推進することです。

困っている人を見かけたら「お手伝いしましょうか」とひと声かけるなど、一人ひとりが身の回りの利用しにくいものや困っている人に気づき、助け合うことができる「心のバリアフリー」が広く浸透した社会は、だれにとっても心地良く暮らしやすいことでしょう。

そのため、葛飾区では、「心のバリアフリー」を推進し、すべての人が心地良く安心して暮らし続けることができる「心ふれあう住みよいまち かつしか」を目指していきます。

3 施策の方向性

(1) 心やさしい『人づくり』

高齢の方、障害のある方、外国人、子どもなどさまざまな人が、あらゆる分野で個人として尊重され、その能力を最大限に発揮できる社会環境づくりを目指して、ユニバーサルデザインの普及推進に努めます。



(2) だれもが安心して暮らせる『まちづくり』

だれもが安心して住み、暮らし続けることができ、そして、だれもが積極的に社会参加のできるまちづくりを進めます。



(3) わかりやすい『情報・サービスづくり』

年齢、心身の状況や言語の違いなどに関係なく入手できるよう、複数の手段により、分かりやすい情報提供に努めるとともに、区民サービスの向上に努め、利用しやすい区役所づくりを目指します。



4 推進体制等

(1) 推進体制

各課が主体的にユニバーサルデザインの考え方に基づいた取組みを進められるように、全庁的に情報を共有できる体制づくりを行います。

(2) 情報発信

区職員のみならず、葛飾区全体にユニバーサルデザインに対する理解が深まるようにするため、葛飾区におけるユニバーサルデザインの進捗状況等ユニバーサルデザインに関する情報を随時ホームページなどで発信していきます。

(参考) すぐにでもできる！ユニバーサルデザイン～わたしたちに何ができるの？

葛飾区では、「ユニバーサルデザイン」の考え方を基本に区政を推進していくために、「葛飾区ユニバーサルデザイン推進指針」を策定しました。これは、これまで本区でも行ってきた、「だれでもトイレの整備」や「エレベーターの整備」などのハード面の取組みだけではなく、「困っている人を見かけたら声をかけ、適切なサポートをする」などのソフト面も含めた取組みを進め、だれもが心地良く、安心して暮らし続けることができるように、基本的な姿勢や考え方を表したものです。

世の中には、さまざまな人がいて、さまざまな不便さ、生きにくさを感じている…そのことを理解しようとする“やさしさ”がユニバーサルデザインへの第一歩だと思っています。

もし、自分が外国へ行って言葉が通じなかったら？足腰の弱いお年寄りだったら？などなど、さまざまな状況を想定して考えてみてください。そんなとき、自分だったらどのように感じるだろうか、どんな困難さを伴うのだろうか…。

このような状況で、困っていることに気づき、声をかけてくれる人がいたら、どんなに心強く、嬉しいことでしょうか。

このようなことから考えると、困っている人に気づいたら、声をかける…この少しの勇気とやさしさの詰まった行動が何よりも大事なのです。これは、きっとだれもが感じる、万人に共通なことでしょう。

わたしたちができること、わたしたちに求められることは、特別なことではなく、ほんのちょっとした言葉、ほんのちょっとした気遣い、ほんのちょっとした行動なのです。

葛飾区では、一人ひとりの気づきを大切にし、“できるところから”“少しずつ”取り組んでいきたいと考えております。ご理解ご協力お願いいたします。